２学年だより

西東京市立青嵐中学校第２学年

令和６年 11 月８日　第 28 号

進路について考える時間をもちました

職業レディネステスト

職業レディネステストとは、現時点の「興味」「自信度」「基礎的志向性」を知るためのテストです。総合的な学習の時間に受けたテストの結果を基に、先日、ハローワークの方からお話を伺い、進路について考えました。

お話から、進路（仕事）探しは興味と自信度をもとに進めることなどを知りました。自分のことを理解し、自分と職業との関係性について考え、将来の目標を思い描くきっかけになりました。

将来どんな職業に就きたいかは、来年の進路選択にも関わってきます。持ち帰ったレディネステストのデータと、結果の見方・活かし方をもとに家族でも話題にしましょう。

来週は第４回定期考査があります。３年生にとっては受験に使う成績「内申点」に含まれる最後の考査になります。２年生にとっても、今回のテストからの１年間は今まで以上に大切なものになります。しっかりとした力をつけ、自分を成長させていきましょう。

これから２年生の進んでいく道「進路」の一番近い所にあるのが中学校卒業後の姿です。たくさんの選択肢の中から自分をより成長させることができるものを選び、より先の目標へつなげていってほしいと思っています。

来週・再来週の予定　８：２５までに席に着き、読書を開始しましょう

11月11日	月	避難訓練
11月12日	火	第4回定期考査（音楽　保健体育　国語）　①～④　給食なし
11月13日	水	第4回定期考査（美術　社会　数学）　①～④　給食なし
11月14日	木	第4回定期考査（技術・家庭　理科　英語）　①～④　給食あり
11月15日	金	①　～④　通常授業
11月18日	月	全校朝礼　①～⑥通常授業　**弁当の日**
11月19日	火	①　～⑥　通常授業
11月20日	水	①　～⑤　通常授業
11月21日	木	①　～⑥　通常授業
11月22日	金	①　～⑥　通常授業

2 学年だより 27 号の後期専門委員会一覧に誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。

生活委員会　U．Kさん
保健委員会　M．Kさん、O．Tさん
体育委員会　K．Aさん

合唱コンクール　作文

Ａ組　　Ｗ．Ｍ　　一つの目標へ

「シルバー銀賞はヒカリを歌ったＡ組です。」それを聞いたときみんなから喜びが溢れていたことを今でも覚えている。

最初に行う大事な曲決め、Ａ組は最後に選ぶ番となってしまい歌いたい曲を歌うことができなかった。結果Ａ組は「ヒカリ」を歌うことになった。そんな中でヒカリへの不満を感じている人も少なくなかった。「こんなの優勝できるわけない」そんな言葉が聞こえてきた。不満に思っている中パート決めが行われた。男子は全員テノール。女子は声の高さに合わせアルトとソプラノに分かれる。そこで問題が発生した。Ａ 組は元々人数が少ないにも関わらず声が低い子のほうが多いためソプラノが他のパートに比べ劇的に少ないのだ。問題はそれだけではない。アルトの予定だった子がソプラノに移動したことによって高音の部分だけ声が小さくなってしまうのだ。実際に歌ってみると想像よりも悲惨なものでソプラノはテノールにかき消されてしまう。この状態は本番の二週間前まで続いた。ソプラノは声を思いっきり出しているテノールに問題があると言い始め、テノールでは声を出さないソプラノに問題があると言い始める。そんな中立ち上がってくれたのは実行委員だった。ソプラノの人数を増やしテノールの声の大きさの調整その他にもより良い歌になるようにと努力してくれた。実行委員の活動を見てなのか不満に思っていた人たちも「この曲なら優勝できる」と気持ちが一つになった。

本番。結果は銀賞。優勝という一つの目標に惜しくも届かない結果となった。それでも不満を言う人は一人もいなかった。「次の行事では絶対勝てる！」そんな声が教室に溢れていた。その時みんなで一つの目標に立ち向かうことはとても大切なことだと思った。「一つの目標に向けてこれからもこのクラスでこの学年で頑張っていきたい」そう思った素敵な合唱コンとなった。

Ｅ組　　Ｓ．Ｍ　　成長

自分は今回の合唱コンクールで、最初から物事を諦めないこと、クラスでの団結力が歌では大切だということを学ぶことができました。三ヶ月前、自分は正直、このクラスではあまり良い結果を残せないのではないか、と心のなかで思っていた部分がありました。みんなでの練習のとき、合唱コンクール実行委員の二人がアドバイスをしているときに、無駄なおしゃべりをしていたり、ざわざわしていたりしていて、他の人が注意を何度も何度もしても誰も聞いていない。みたいなことが何度かありました。そのせいで、ソプラノ、アルト、テノールで合わせて歌うところや、歌のハモリの入りだしもなかなか息が揃わず、とてもバラバラな合唱になっていました。そんなときに、みんなを引っ張ってくれて、まとめてくれたのが、合唱コンクール実行委員の二人でした。合唱コンクール実行委員の二人は、諦めずにクラスを一つにまとめてくれて、私達Ｅ組を引っ張ってくれました。そのおかげで、なかなかみんなの息が揃わないと赤地先生に言われていたところも、次々と揃うようになり、最終的には、リハーサルのときに一つの合唱になるくらいになっていました。リハーサル後も、リハーサルのときにあまり良くなかったところを中心的に行ったり、音があまりわからないところをパートごとに行ったりということを本番までに行いました。自分はその時、クラスが一つになった気がしました。そして本番では、金賞、銀賞は取れなかったけど、クラスの中では三ヶ月前よりも確実に成長したと思っています。